

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公表番号】特表2003-534286(P2003-534286A)

【公表日】平成15年11月18日(2003.11.18)

【出願番号】特願2001-585787(P2001-585787)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/765	(2006.01)
A 6 1 K	31/198	(2006.01)
A 6 1 K	31/353	(2006.01)
A 6 1 K	31/519	(2006.01)
A 6 1 P	9/08	(2006.01)
A 6 1 P	15/10	(2006.01)
A 6 1 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/765	
A 6 1 K	31/198	
A 6 1 K	31/353	
A 6 1 K	31/519	
A 6 1 P	9/08	
A 6 1 P	15/10	
A 6 1 P	21/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	43/00	1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月20日(2007.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

勃起障害の症状を改善するための治療薬であって、一酸化窒素源である基質Lアルギニン又はその塩と、前記Lアルギニン又はその塩から一酸化窒素を合成する触媒として作用する内皮NOシンターゼ酵素を刺激するのに有効な量のプロアントシアニジンを活性成分として含む刺激物質とを含んでおり、プロアントシアニジンと基質Lアルギニン又はその塩は、治療に有効な量が含まれ、勃起障害の症状を改善するのに十分な量の一酸化窒素が合成によって放出される治療薬。

【請求項2】

勃起障害の症状を改善し、内皮のNOシンターゼ酵素を刺激するために、治療に有効な量のシルデナフィルをさらなる活性成分として含んでいる請求項1の治療薬。

【請求項3】

酵素ホスホジエステラーゼ5型による環状グアノシンーリン酸の減少作用を抑制するのに有効な阻害剤をさらに含んでいる請求項1又は2の治療薬。

【請求項4】

環状グアノシンーリン酸の減少を防ぐのに有効な物質をさらに含んでいる請求項1乃至

3 の何れかの治療薬。

【請求項 5】

プロアントシアニジンの量は、40 mg ~ 300 mg である請求項 1 の治療薬。

【請求項 6】

Lアルギニン又はその塩の量は、200 mg ~ 2 グラムである請求項 1 の治療薬。

【請求項 7】

プロアントシアニジンの投与量は 1 ~ 1.5 mg / kg であり、Lアルギニン又はその塩の投与量は 15 ~ 40 mg / kg である請求項 1 の治療薬。